

科目名		一般構造 I			
担当教員		淡路 泰輔		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで一般構造の基礎的な仕組みを理解しておく必要があります。そのために授業では、建築物の構造の基礎的な仕組みと木構造を中心に解説します。構造の仕組みと木構造を理解でき、説明できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→2級建築士の試験問題→解説を繰り返します。後期は3回程度評価テストを実施し、理解度を確認します。			
学習目標 (到達目標)		後期は、木構造の基礎知識・在来工法・枠組壁工法を中心に学ぶほか、鉄骨造の鋼材の特徴・鋼材の形状についても学び、2級建築士学科試験の科目範囲の合格点に達するための理解を目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		・図説やさしい建築一般構造 著者：今村仁美・田中美都 発行：(株)学芸出版社 ・配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	木構造の基礎知識 ・木構造の特徴 ・構造形式			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
2	在来工法 ・基礎、地業 ・軸組			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
3	在来工法 ・柱頭、柱脚金物の設置基準 ・耐力壁（壁量計算）			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
4	在来工法 ・小屋組 ・床組			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
5	在来工法 ・階段 ・接合部			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
6	枠組壁工法 ・材料と使用箇所 ・各部の構造			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
7	鉄骨造 ・鋼材の特徴 ・鋼材の形状			方法：テキスト・配布プリントによる説明、解説 達成目標：左記項目の理解	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	評価テスト			社会に出てからの実務や建築士試験を受験するときに不可欠な、建築一般構造について解説します。 後期は木構造を中心に説明し、評価テストで理解度を確認しながら合格基準への到達を目標とします。 取組姿勢：授業態度	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計事務所等に勤めて25年以上			